

こくみん共済 NEWS
coop

みんなとつくる、これからの「たすけあい」

たすける、たすけられる。みんな、たすけあいながら生きています。
今、新型コロナウイルスの影響で人と人のふれあいが制限され、
多くの人が寂しさや不安を抱えています。
いつ来るかわからない自然災害も心配です。
こんな時だからこそ、これからの「たすけあい」について、
みんなで考えてみませんか？

10月15日 たすけあいの日

全国社会福祉協議会が1965年に制定。日常生活でのたすけあいや、ボランティア活動への参加を呼びかける日です。

“もしもの前” から取り組みます

もしものときの安心はもちろん、
もしものを防ぎ、減らすための取り組みも行います。
もしものが起こったときは、
早く元の生活に戻れるようにサポートします。
困った人をつくらない、
困っている人に寄り添い続ける。
これまで以上に安心をお届けします。

共済は たすけあう仕組み

けがや病気、事故や災害など、
将来のリスクにあらかじめみんなで掛金を出し合って
備える仕組みが「共済」です。
より多くの方にご加入いただけるように
掛金の手頃さを大切にします。
また、地域や年齢・性別に関わらず
掛金と保障内容を同じにするなど、
みんなのたすけあいを実現しています。

住み共済 共済 共済
住み共済 共済 共済

始めています これからのこと

自然災害から 暮らしと地域を守るために

暮らしをおびやかす自然災害に、
防災・復興・支援まで取り組んでいきます。
気軽に防災・減災を学び備える「ぼうさいカフェ」や
被災地の緑を回復する「環境保全活動」も続けます。



ぼうさいカフェの様子

知ってほしい キホンのこと

みんなが育てた 安心のネットワーク それが「こくみん共済 coop」です

戦後まもないころ。ひとたび火災が起きると生活が崩壊する時代。
そこで職場の仲間たちが少しずつお金を出し合い、
お互いをたすけあう火災共済をつくったことが、
こくみん共済 coop のはじまりです。
その後、共済の種類を増やし、さまざまな社会課題に向き合いながら、
生活協同組合として組合員の皆さんと活動を広げてきました。
今では加入件数3,052万件、
1年間にお支払いした共済金は3,337億円と
大きなたすけあいの輪に発展しています。

子どもたちの未来を 守り育む取り組み

「7才の交通安全プロジェクト」は、
みんなで交通事故から子どもたちを守る活動。
交通安全の啓発や横断旗の寄贈を行っています。
「子どもの成長応援プロジェクト」は
子どもたちのすこやかな成長を応援し、
たすけあいの気持ちを次の社会につなぐ活動です。



横断旗

なわとび・長なわイベントの様子

もっと たすけあいを

たすけあいを気軽に身近なものに。
「ENJOY たすけあい」は、
たすけあいを楽しむヒントを紹介しています。
コロナ禍でもできる「#今できるたすけあい」も実施。
医療・介護・福祉の分野で働く方々へ、
みんなの「ありがとう」を
届けています。

誰一人取り残さない 社会に向けて

理念である
「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」は、
「誰一人取り残さない社会」をめざすSDGs[®]に通じています。
これからも、理念を実現していくために。
共済を通じて「たすけあいの輪」をむすび続けます。

※SDGs:2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
こくみん共済 coop は目標達成に貢献するため「SDGs行動宣言」を定めました。

利益が目的 ではありません

共済は、たすけあいの仕組みなので、
利益を出すことを目的にしていません。
お預かりした掛金から、
困っている方に共済金をお届けして生活を支え、
剰余が出れば割り戻し金として
お戻しします。

組合員になることで 共済を利用できます

共済はみんなが主役です。
出資金をお支払いいただければ
組合員になることができ、
各種共済商品をご利用いただけます。
人から人、親から子へ
組合員の輪は広がっています。

“いま必要な安心”を 届けています

今ある保障で足りないときには、
新しい安心をつくることにもチャレンジします。
例えば、阪神・淡路大震災の後には、国からの支援が必要だと考えて
「被災者生活再建支援法」の成立に取り組み、
社会に大きな役割を果たしました。



街頭での署名活動の様子



公式キャラクター
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済 <全労済>

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP